

4/16 五夜

福井・全17市町

子ども医療費窓口無料化

助かります

保護者ら
歓迎次々

福井県で、4月から中学校卒業までの子ども医療費助成制度が拡充され、自己負担部分を除き、医療機関窓口で支払いが不要になりました。全17市町で始まり、保護者らから喜びの声が相次いでいます。



医療機関窓口=39丁目 福井市

子ども医療費が自己負担分を除き、支払い不要になった医療機関窓口=39丁目 福井市

続き運動の課題です。福井市など8市町では、小中学生に対し、1医療機関当たり、通院に月500円、入院は1日500円（月4000円上限）の自己負担を設けています。あわら、永平寺、勝山、坂井、南越前、美浜、おおい、高浜、若狭の9市町は設けていません。高浜町は18歳まで助成し、6月からは南越前町も実施します。

「成果喜びたい」
これまで、医療機関でいったん支払った後に返つてくる「償還払い」でした。

11歳の息子と13歳の娘を連れて受診した女性（越前市）は「2人とも長く（医療機関）に通っていて、けっこう医療費がかかっているので助かります」と喜びます。4歳の長男を受診させた女性（あわら市）も「うれしいです。払わなくてよくて助かる」と笑顔をみせました。

窓口無料化に向けては、新日本婦人の会や社

自己負担廃止を

国は助成制度を設けて成果を図りたいと思っています。子育て世代、未来の子どもたちへの最高のプレゼントだと感じます」と話します。

国は助成制度を設けていないうえ、窓口無料化を行う自治体に対し、国民健康保険への補助を減額する「制裁措置」をとっています。未就学児分については2018年度からやめましたが、小学生以上については継続しています。今回生じる中学生までの制裁措置につい